

第49回 岡山県本部総会報告

2017年 7月1日 守る会岡山県本部

1. 開催日時 2014年 7月 1日(土) 13時30分～15時30分
2. 開催場所 岡山国際交流センター 5階「会議室1」
〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町2丁目2-1
3. 出席者全体 39名
内訳 守る会会員 35名(内被被害者 35名)
その他 4名(来賓 4名)

4. 来 賓

- ①岡山市議会議員副議長 田尻 祐二
- ②障害者の生活と権利を守る岡山連絡協議会会長 吉田 裕美
- ③岡山県救済対策委員長 井村 誠
- ④森永乳業(株)渉外部中国事務所長 市川元章

5. 祝電・メッセージ

- ①岡山県知事 伊原木 隆太
- ②岡山県議会議長 伊藤 文夫
- ③ひかり協会理事長 松田 朗
- ④ひかり協会労働組合委員長 辻岡孝司
- ⑤守る会全国本部理事長 桑田正彦
- ⑥岡山県民主医療機関連合会会長 高橋 淳



6. 新役員

- 委員長 森脇良明
副委員長 入江 弘(全国常任理事兼務)、真田博美(財政担当兼務)、吉田康子(ふれあい活動)
事務局長 春木範子(自主的グループ活動)
常任委員 岡 孝治(全国四役兼務)、南早百合、平松邦夫、広瀬成尚、河本尚子、
徳田和夫、牛房紀晃、堀 達人、新谷 泉、山根一郎、山元一生
幹 事 入屋健二、渡邊桂子

7. 議案に対しての主な質問・意見、答弁の内容

(発言)・・・備中支部 平松代議員

実態把握調査については、会員全員の調査表作成を提案しているが、この実態把握調査は今回限りの調査であり、漠然とした取り組みではたちまち1年過ぎてしまうと思うので、守る会の会員だけでなく①被害者全員から出してもらい取り組みにするため、協会とよく協議して守る会と協会が共通目標を持った取り組みにするよう、守る会から協会に提案して欲しい。

(回答)・・・森脇

実態把握調査については、今後の救済事業に活かすための大切な調査であるということ、守る会岡山県本部としてちゃんと認識しております。今後の取り組みについては、協会とよく話し合い、しっかり協力して取り組んでいきたいと思っております。

つきましては、救済事業協力員の皆さんも担当の①被害者の皆さんに、必ず提出の確認・要請を行っていただくようお願いします。

(発言)・・・備中支部 平松代議員

県総会の活動方針(案)には書かれていないが、疫学研究調査結果がひかり協会から公表されている。障害のある被害者の健康実態を明らかにして、今後ひかり協会としてどう取り組んで行ったらよいのかという内容が提案されている。

岡山県本部としても、疫学研究調査の内容を学習して、どういったてだてをうったら障害のある被害者の皆さんの健康悪化を防ぐ取り組みができるのかということ、守る会岡山県本部として協会に提示していただきたい。

(回答)・・・森脇

疫学調査結果については、守る会全国本部の会議や二者懇談会・協力員会議の勉強会で、被害者全体での死亡率は、全国の一般住民と比較しほぼ同率となったが、障害のある被害者の死亡率は約3倍と依然高い死亡率となっているということでしたが、それ以上のことは申し訳ありませんが、勉強不足で理解しておりません。資料をいただいているので、私を含め県本部常任委員会でもよく学習して、協会にお願いするべきことは、協会に対応したいと思っております。

8. 主な活動方針での提案

今回の県本部総会では、2016年度活動報告についてプロジェクターを使用し、「自主的グループ活動」「ふれあい活動」で撮りためた動画や写真を織り込み、スクリーンに投影し報告を行ったところ好評を得ました。

2017年度活動方針（案）では、「介護保険制度優先原則による障害のある被害者のみなさんの障害福祉サービスの質の低下・量の不足についての課題」「年々きびしくなる介護保険制度の学習」「前回から15年目に実施する被害者実態調査への協力」「障害のある仲間とのつながりを大切にするためのふれあい活動への協力依頼」「支部活動の日程・内容等を会員の皆さんにメールで周知するためのメーリングリスト作成と、会員の皆さんからのメールアドレスの提供のお願い」等について提案し、承諾をえました。